

9月15日(月) Chapter 2 Vocabulary

I. Business Matters (10分)

- 1-出欠の確認
- 2-9/16(火)のVocabulary quizのお知らせ。
- 3-パッケージの各章の構成について説明。
Text / Vocabulary / Workbook (Lab Ex.)
Essential vocabulary (クイズに出るもの、必修)
Passive vocabulary (教科書に出てくるもの、特に覚える必要のないもの)
Supplementary vocabulary (教科書に出てこないが、クラスのアクティビティー等で参考になる)
*毎年、説明にも関わらず、単語クイズの範囲がわからない学生がいます。強調して!

II. Vocabulary - Countries (10分)

- 1 世界地図のOHP(用意)を利用して、国名の紹介と口頭練習。
- 2 国旗のカード(用意)を使って、クラス全体で練習。その後、カードを繰って、1人ずつ指名して練習。

III. Vocabulary - Nationalities & languages (10分)

- 1 もう一度世界地図(OHP)で、国名の確認をした後、「Country name + じん」= Nationality を説明。国旗カードあるいは世界地図(OHP)を使って、クラス全体で練習。その後、それぞれの学生の国籍を言わせる。
- 2 次に「Country name + ご」= Language を導入。「英語」は、例外なので、一番最後に紹介し、学生に注意を促す。カナダの場合、英語とフランス語というように、andの意味の「と」を簡単に説明してもよい。(Chapter 2の後半で文法説明が入る)
- 3 国旗カードを使って、「Country name + ご」を練習。学生が話せる言語などを言わせてみる。

IV. Vocabulary - Year in School & academic status (10分)

- 1 まず、1~4年生を導入。(1~4の数字カードとGのカードを使うー各TAで用意して下さい)一通りクラス全体で練習した後、各々の学生の学年を言わせる。
- 2 次にstatusの導入。学生/大学生/留学生/大学院生/先生/教師がstatusを言って、学生に自分がそのstatusだったら、手を上げさせる。

V. Vocabulary - Major (10分)

- 1 Majorを大きい字で書いたもの(用意)を見せながら、口頭練習。
専攻/アジア研究/経済学/文学/工学/経営学
- 2 自分の専攻を(2-37-SE)の中から探させる。該当する単語が見つからなかった学生には、「~は、日本語で何と言いますか。」を使って、教師に質問させる。

VI. Essential Vocabulary 4の単語を一通り読んで、翌日のクイズの確認をする。

特に、上で取り上げていない単語は、各自簡単説明を加えながら、紹介して下さい。

* この課の間に数字を1から10まで導入、定着させてください。(これはレッスンプランのなかに含まれていませんが、各自適当な時間に入れて少しずつ練習させて下さい。)

I. Business Matters (10分)

- 1 出欠の確認。
- 2 Vocab.Q2の実施(OHP)と答え合わせ。
- 3 Culture Note A 「～さん」の使い方は、第一目目に説明したので、ここでは軽く説明と確認をする。
 - (1) 「Last Name+さん」を学生に徹底させる。
 - (2) 「First Name+さん」は、親しい間柄で使われる場合があるが、親しくても目上、年上の人を使うことはあまりない。もちろん、家族の中で下の者に対して、これが使われることがある。その他、家族の中では、目上に対してkinshipが使われる。
 - (3) 自分の名前には敬称をつけないこと。

II. Language 1 「～は、～です。」の導入。(25分)

- 1 以下の例文を使って、導入。 Note 1,2,3を簡単に説明する。

わたしは、さんねんせいです。
わたしは、だいがくせいです。
わたしは、アメリカじんです。

この例文に従って、各自自分について、言わせてみる。
- 2 2-A-2の絵(OHP)を使って、「～は、～です。」の構文を練習。教師がモデルを示した後、クラス全体で、それぞれの人物について、文を作らせる。
- 3 次に学生を一人前に出して、クラスの中の友達について、言わせる。そして、板書。

例) スミスさんは、学生です。スミスさんは、1年生です。 スミスさんは、アメリカ人です。
のような文ができたら、pronounに当たる名前は日本語では使わないので、省略させる。
まず、重複した名詞を指摘させ、説明を加えながら、省略していく。
同じ様な練習を2、3回する。
- 4 話して見ましょう のAをする。まず、教師が「田中さん」の例を示し、クラス全体で、「リーさん」と「スミスさん」の例をした後、ペアワークにする。
- 5 話して見ましょう のCをする。(聞いた情報を教科書に書かせるのを忘れないように)

III. Language 1 「～は、～じゃありません。」の導入。(20分)

- 1 以下の例文(2-A-2の絵より)を使って、導入。『じゃありません』と『じゃないです』の相違点について説明をする。クラスでは『じゃありません』を使い、覚える。

たなかさんは、アメリカじんじゃありません。
キムさんは、にほんじんじゃありません。
- 2 学生に「～は、～じゃありません。」を使った構文を作らせる。まず、自分について
「わたしは、～じゃありません。」
「せんこうは、～じゃありません。」
有名人の写真を用意。それを見せながら、否定文を作らせる。時には教師の方から、
「～さんは、アメリカじんですか。」といった質問を投げかけ、それに否定文で答えさせる。
- 3 話して見ましょうのCでパートナーの情報を書きとめているので、今度はそれを使っているんな文を作らせてみる。ここで肯定文と否定文の両方を作らせる。(例：～さんは、学生です。一年生です。専攻は工学です。～さんは、アメリカ人じゃありません。)選んだ学生の情報をもとに全体でやった後、各自自分のパートナーを別のクラスメートに紹介する。

9月17日(水) Culture & Language 2

I. Business Matters (5~10分)

1. 出欠の確認。
2. Culture Note B について説明。これも前の章で勉強したことなので、簡単にお知らせる。
3. 昨日の復習として、自己紹介の練習。(話して見ましようのCをもとに)

II. Language 2 「～は、～ですか。/ええ、そうです。/いいえ、そうじゃありません。」(第三者に関する質問の導入。(15分))

- 1 以下の例文を使って、導入。

すずきさんは、学生ですか。

ええ、学生です。

ええ、そうです。

いいえ、学生じゃありません。

いいえ、そうじゃありません。

すぐに「そうです/そうじゃありません。」ではなく、まず左の方の答えを板書して、右のような形に省略できることを説明。(「そうです。」の「そう」の部分は名詞の部分の置き換えになっていることを簡単に確認する。これは後々「形容詞+ですか。」のような置き換えに学生が使ってしまうことがよくあるので簡単に説明しておく。)

- 2 学生を立たせて、「～は～ですか。」の構文を使って、その学生に関することをクラスに向かって質問する。「ええ、そうです。/いいえ、そうじゃありません。」で答えさせる。

例) ~さんは、大学院生ですか。

~さんは、一年生ですか。

~さんは、アメリカ人ですか。

- 3 有名人の写真など(用意)を見せ、学生に質問を作らせる。そして、答えさせる。

III. Language 2 「～は、～ですか。/ええ、そうです。/いいえ、そうじゃありません。」(聞き手に関する質問の導入。(15分))

- 1 IIと同じ例文を使って、今度は聞き手に対する質問にも使えることを確認する。

すずきさんは、学生ですか。

ええ、そうです。

いいえ、そうじゃありません。

コンテキストによって質問が誰にあてられたものか判断しなければならない。

- 2 学生を一人前に立たせて、その学生についていろいろと質問をさせる。

- 3 話してみましようのAをする。まず、質問文をみんなで読んで、意味の確認をする。それから、何人かの学生を指名して、代表で答えさせる。その後、6つの質問をとなり同士で練習させる。

IV. これ/それ/あれは、～ですか。 ええ、そうです。/いいえ そうじゃありません。

名詞は学生が分かるものを使って、これ/それ/あれの復習もかねて練習させる。

(ペン/ノート/とけい/ジーンズ/シャツ/えんぴつ等)序章の時に使ったOHPを使ってもいいです。

時間があれば、話して見ましようのBとCをする。

I. Business Matters (15分)

1. 出欠の確認。
2. 明日、宿題WB p.1,2,7,8の提出。
3. Culture Note C について説明。名刺の形式、名刺に含まれている情報などをOHP / 本物の名刺をいくつか用意して、説明する。会社では、名刺が重要な役割を果たすことを説明。さらに、名刺の渡し方、受取方について、デモンストレーションする。(新日鉄のビデオのビジネス会合の部分までを見せるー約5分)

II. Language 3 「～の～」の導入。(15分)

- 1 以下の例文を使って、Noun + の + Noun の導入。(Note 1,2)

えきだせんせいは、パデューだいがくのせんせいです。にほんごのせんせいです。

えきだせんせいは、にほんじんのせんせいです。

えきだせんせいのせんこうは、きょういくがくです。

わたしは、パデューだいがくのがくせいです。

わたしのせんこうは、けいざいがくです。

III. Language 3 「～の～」の練習。(20分)

- 1 話して見ましょう A をクラス全体です。
2-A-2の絵(OHP)を利用して、「たなかさんは、にほんじのがくせいです。」の例文だけやらせる。学生に、自分について言わせる。「わたしは、～のがくせいです。」
- 2 所属を表わす言い方「～大学の～です。」
これは用意した名刺を見せながら、練習させる。クラス全体の練習だけで充分。
- 3 話してみましょう D モデルにそって、自己紹介の練習をさせる。となり同士で互いに自己紹介の練習をする。後で、何人かの学生を指名して、クラスに向かって自己紹介をさせる。次に、学生に2で使用した様々なタイプの名刺カードを与え、それに従って、自己紹介の練習をさせる。(次ページ参照)
- 4 話して見ましょう E モデルにそって、他己紹介の仕方を紹介する。まず、絵に出てくる人物を使って、クラス全員で他己紹介(こちらは、～の～です。)の練習をする。次に、4人1組にさせ、2、3で使った名刺カードを元に自分のグループの中の一人を他の人に紹介する。

Sony Yamada	Honda Kimura
IBM Smith	Ford Brown
Tokyo Univ. Satoo	Chicago Univ. Kim
Indiana Univ. Suzuki	Purdue Univ. Lee
NEC Tanaka	N.Y. Times Carter

JAL Aoki	Toyota Katoo
Delta A. Chin	CNN Johnson
Texas Instru. Jones	Hilton Hotel White
Bank One Williams	Osaka Univ. Chen
AT&T Miller	Century 21 King

9月19日(金) Language 4

I. Business Matters (10分)

1. 出欠の確認。
2. 宿題WBp.1~3,7~10の回収。月曜日、宿題WBp.5,6,11,12の提出。
3. 「~の~」の復習。

II. Language 4 Wh-questions の導入。(20分)

1. まず、「おなまえは、なんですか。」「せんこうは、なんですか。」を導入。答え方は「~です。」であることを確認。(トピックの部分の省略「~は」も説明のこと) 同じ質問が第三者にも聞き手にも使えることを確認。学生同士で、以下の会話を練習させる。

おなまえは、なんですか。 たなかです。

せんこうは、なんですか。 ぶんがくです。

これ(それ/あれ)は、なんですか。 えんぴつです。

ー序章と9/17に使ったOHPをまた利用してください。

2. 次に「なんねんせいですか。」を紹介。(何じんですか。という表現は失礼なので、使わせない。) 何時などのような例をいくつか挙げて、説明をする。その後、学生同士で何年生か聞き合う。少し慣れたら、何名かに当ててクラスメートの学年を聞かせる。
3. 「だいがくは、どこですか。」を簡単に説明。学生には、「どこからきましたか。/ どちらからいらっしゃいましたか。」を紹介し、この表現を覚えさせる。「どちらからいらっしゃいましたか。」のほうが丁寧で、妥当であることを確認。返事は、「~からきました。」を使うように指導する。

III. Language 4 Wh-questions の練習。(20分)

1. 話して見ましょう A をクラス全体です。モデルを見せて皆で質問文を作らせ、口頭練習をさせる。そして、残りの問題をやらせる。ノートに答えを書かせて、少し時間をとり、全員が理解できているか確認をする。
2. 話して見ましょう B/C/D ハンドアウトに沿って、1つのアクティビティーにつき、5分くらい時間をとる。いずれも教師がモデルをやってみせ、タスクが確認できてから、始めること。それぞれ、ゆっくり時間をかけて、口頭練習をさせて、質問文が自然に出て来るようになってから、練習をさせて下さい。
ハンドアウトは、また使うので捨てないように、学生に注意。

はなしてみましよう B

A : ~さんは、なんねんせいですか。

B : ~ねんせいです。

Year in School	Name
1	
2	
3	
4	
Grad	

はなしてみましよう C

A : ~さんのせんこうは、なんですか。

B : ~です。

Your major: _____

Names of the people with the same major: _____

はなしてみましよう C

A : ~さんは、どちらからいらっしゃいましたか。

B : ~からきました。

Name	From		Name	From

9月22日(月) Language 5

I. Business Matters (15分)

1. 出欠の確認。
2. 宿題WBp.5,6,11,12の回収。
3. Wh-questions の復習。(昨日のハンドアウトを使ったりして下さい。)

II. Language 5 Particles 「も」と「と」の導入。(25分)

1. 教科書の例文を元に「も」を導入する。

アリスさんは、だいがくせいです。

アリスさんのともだちもだいがくせいです。

一枚の紙に2人の絵を書いたものを用意します。 それを使って、下の様な文を作らせます。

キムさんは、韓国人です。 スミスさんは、アメリカ人です。 チンさんは、一年生です。

リーさんも、韓国人です。 カーターさんも、アメリカ人です。 私も、一年生です。

いくつか用意しておきますので、それで練習させます。最初「も」がどの位置にくるのか、迷う学生がいるので、「～は、～です。」「～も～です。」の両方を黒板に書いていくつかの例で確認をさせてください。この場合「は」が「も」に変化、そしてどこの部分が同じ内容になっているかの確認をすること。これは、学生によっては混乱する人もいます。

2. 話して見ましょう のAのチャートをつかって、「～は、～人です。～も、～人です。」の練習をペアでさせる。 まだチャートを読むのに時間がかかると思われるので、チャートをOHPにしたもので、読みを確認してから、練習をさせる。ペアワークの後で、改めて何名かに代表としてやらせ、答えをみんなで確認する。*例文に「～と～は、～です。」が出てきますが、最初はそれを無視してやらせないで下さい。その部分は III. でやります。
3. OHP(上でつかったもの)を見せながら、まず「～さんは、何年生ですか。」と聞いて、学生に答えさせる。次にOHP(絵を用意)を見せながら学生に次のような文を作らせる。
「私は、～年生です。～さんも～年生です。」学生全員に言わせる。

III. 教科書の例文を元に「と」を導入。(10分)

アリスさんとアリスさんのともだちは、だいがくせいです。

アリスさんもアリスさんのともだちも、だいがくせいです。

上の二つの文の違い、「と」と「も」それぞれの文法上の役割を説明。「話して見ましょうA」のチャート(OHP)を使って、あるいは、用意した絵を使って練習させる。

最後に、「そして」を紹介して、「と」の違いについてふれておく。

9月23日(火) Reading & Listening

I. Business Matters (5分)

1. 出欠の確認。
2. 明日は、宿題W B p.4,5,6,11,12の提出。

II. 読む練習(20分)

- 1 日本語のテキストについて軽く説明する。平仮名/片仮名/漢字について/漢字仮名混じり文であることを説明。まだ、漢字と片仮名を勉強していないので、わからないと思うが、これらは日本語を読む場合には、大変役立つことを簡単に説明。
- 2 1-27のテキストをOHPにしたものを用意。まず、教師が読み、その後学生にも一文ずつゆっくり読ませてみる。何度か読ませた後で、Comprehensionをさせる。

III. あいづち(簡単に説明)(25分)

日本語では、あいづちをうつことによって、相手の話に注意して耳を傾けていることを表現することになる。(英語とはずいぶん違うことを確認)あいづちなしでは、コミュニケーションがうまくとれなくなることも有り得る。たとえば、相手があいづちをしないと話を中断し、聞いているかどうか確認するといった行動が日本語の会話ではみられる。電話での会話も同じこと。

学生の一人に自己紹介をさせ、教師があいづちのうち方を実践してみせる。

教師が自己紹介をして、学生にあいづちをうたせる。ペアで練習をさせる。

* ヤンさん第一話を見せる。

ほとんど内容は理解できると思うが、一部学生の知らない表現/単語が出てくるが、それはあまり気にしないように、そして習った表現に注意、あいづちにも注意して見させる。

一時間があれば、ダイアログをしてもよい。(ダイアログは最終的に出来なくてもいいです)

- 1 Aの1と2をする。
- 2 アリスさんとリーさんの漫画をみながら、テープの前半をきかせる。
- 3 会話文がどの漫画のフレームに対応するかチェック。内容の確認。
- 4 テープの後半部分を聞かせて、前半部分と同じ様なアクティビティをする。
- 5 Comprehensionをする。(1-7)

9月24日(水) Communication strategy & dialogue

I. Business Matters (20分)

1. 出欠の確認。
2. 宿題Vocab-2の回収。
3. テストについての質問応答。

II. 聴解問題 (クラスによって、問題の数を少なくしてもいいです。)

スクリプトは次のページ。

名前/学年/出身地/専攻などの情報を集めさせる。

III. ロールプレイ (15分)

- 1 空港で人を探して、自己紹介をさせる。(4人グループにする)
学生には、カードを与える。そこに自分の名前(その他の情報)と探す相手の名前が書かれている。

実際にインタビューを始める前に以下の質問文を学生に復習させる。(OHPを用意)

Name : おなまえは、なんですか。

Year in School : なんねんせいですか。

Major : せんこうは、なんですか。

From : どちらからいらっしゃいましたか。

Nationality : アメリカ人ですか。

しかし、インタビューの練習をする時は上の情報を全部聞くこと、名前は一番最後に聞くことにする。そして、相手の情報についてはメモをとらせる。

時間があまったら、各自のメモにそって文を作らせて、クラス全体で確認。

ー田中さんは、パデュー大学の一年生です。

ー田中さんの専攻は、工学です。

ー田中さんは、東京から来ました。

Your name : Tanaka (Japanese) Status : freshman / Purdue University Major : engineering From: Tokyo You are looking for Yamada.....

9月25日(木) Chapter 2 Test

A: すみません。お名前は、
B: あ、私ですか。
A: はい。
B: ホワイトです。
A: ホワイトさんは、シカゴ大学の学生ですね。
B: ええ、そうです。私はシカゴ大学の大学院生です。
A: 大学院生ですか。それで、専攻は何ですか。
B: 私の専攻は工学です。

A: すみません。東京大学の山田先生ですか。
B: はい、そうですが。
A: はじめまして、私はパデュー大学のスミスです。
B: はじめまして、山田です。スミスさんは何年生ですか。
A: 私は、2年生です。
B: 専攻は何ですか。
A: 日本文学です。
B: そうですか。

A: ブラウンさんは、今何年生ですか。
B: 私では、今4年生です。田中さんは、何年生ですか。
A: 私は、3年生です。
B: そうですか。私の専攻は経済学ですが、田中さんの専攻は何ですか。
A: 私も経済学です。
B: ええ、そうですか。田中さんはどちらからいらっしゃいましたか。
A: 私は日本の京都から来ました。
B: 京都ですか。いいですね。私はインディアナのサウスベンドから来ました。

A: リーさんは、留学生ですか。
B: リーさんですか。
A: クラスメートのリーさんですよ。
B: ああ、リーさんね。リーさんは留学生ですよ。韓国人ですよ。
A: そうですか。リーさんの専攻は何ですか。
B: ええと、確かコンピューターサイエンスです。
A: へえ、そうですか。

<Dialogue 1>

- 1. White is a professor.**
- 2. White goes to Chicago Univeristy.**
- 3. White's major is economics.**

<Dialogue 2>

- 1. Yamada is a professor.**
- 2. Yamada is a professor at Purdue University.**
- 3. Smith is also a professor.**
- 4. Smith's major is Japanese.**

<Dialogue 3>

- 1. Brown is ____ year student.**
- 2. Tanaka is ____ year student.**
- 3. Brown's major is _____.**
- 4. Tanaka's major is _____.**
- 5. Brown is from _____.**
- 6. Tanaka is from _____.**

<Dialogue 4>

- 1. Is Lee a graduate student?**
- 2. What is Lee's relationship with these two speakers?**
- 3. What is Lee's nationality?**
- 4. What is Lee's major?**

<Dialogue 1>

- 1. White is a professor.**
- 2. White goes to Chicago Univeristy.**
- 3. White's major is economics.**

<Dialogue 2>

- 1. Yamada is a professor.**
- 2. Yamada is a professor at Purdue University.**
- 3. Smith is also a professor.**
- 4. Smith's major is Japanese.**

<Dialogue 3>

- 1. Brown is ___ year student.**
- 2. Tanaka is ___ year student.**
- 3. Brown's major is _____.**
- 4. Tanaka's major is _____.**
- 5. Brown is from _____.**
- 6. Tanaka is from _____.**

<Dialogue 4>

- 1. Is Lee a graduate student?**
- 2. What is Lee's relationship with these two speakers?**
- 3. What is Lee's nationality?**
- 4. What is Lee's major?**

Name : おなまえは、なんですか。

Year in School : なんねんせいですか。

Major : せんこうは、なんですか。

From : どちらからいらっしゃいましたか。

Nationality : アメリカ人ですか。

<p>Your name : Tanaka (Japanese) Status : freshman / Purdue University Major : engineering From: Tokyo</p> <p>You are looking for Yamada.....</p>	<p>Your name : Yamada (Japanese) Status : junior / Chicago University Major : American literature From: Osaka</p> <p>You are looking for Tanaka.....</p>
---	--

<p>Your name : Brown (American) Status : graduate student / Tokyo University Major : economics From: New York</p> <p>You are looking for Kim.....</p>	<p>Your name : Kim (Korean) Status : senior / Michigan University Major : business administration From: Seoul</p> <p>You are looking for Brown.....</p>
---	---

<p>Your name : Tanaka (Japanese) Status : freshman / Purdue University Major : engineering From: Tokyo</p> <p>You are looking for Yamada.....</p>	<p>Your name : Yamada (Japanese) Status : junior / Chicago University Major : American literature From: Osaka</p> <p>You are looking for Tanaka.....</p>
---	--

<p>Your name : Brown (American) Status : graduate student / Tokyo University Major : economics From: New York</p> <p>You are looking for Kim.....</p>	<p>Your name : Kim (Korean) Status : senior / Michigan University Major : business administration From: Seoul</p> <p>You are looking for Brown.....</p>
---	---

ジャパンコミュニケーションズ Inc.

代表取締役

ロナルド・グラニッチ

419 Occidental Ave. S. #509 Seattle, WA 98104

TEL: (206)343-396 Fax: (206) 621-1786

玉

川

大

学

英

米

文

学

科

池

田

悟